

に が たけ りょうすけ  
仁ヶ竹 亮介 略歴

高岡市立博物館副主幹学芸員。富山大学大学院人文科学研究科人文科学専攻修了。

昭和50年、高岡市出身。平成10年(1998)、財団法人高岡市民文化振興事業団(現公益財団法人)・高岡市立博物館学芸員。同23年(2011)、同高岡市美術館主任学芸員。同25年(2013)、同館主査学芸員。同26年(2014)、同館主査学芸員。同31年(2019)現職。

博物館学芸員として、郷土高岡に関わる資料の収集・保管、調査・研究、展示、教育普及などに努めている。

専門は文献史学(近世民衆史)。古文書などの歴史資料を活用し、高岡地域を主なフィールドに高岡城や近世高岡町、高岡鋳物産業史等を調査研究。またデジタル・アーカイブの調査研究・推進や郷土の古文書の調査・整理、普及にも取り組む。高岡市福岡歴史民俗資料館古文書講座講師、越中史壇会会員、富山県公文書館古文書調査員、高岡城跡保存活用計画策定専門部会委員。

**【主な担当展覧会】**「高岡の祭礼と母衣武者行列」(H10)、「ふるさとの偉人」(H11)、「高岡金屋とその周辺金屋」、「郷土の天神信仰」(以上 H13)、「高岡の文化財」(H14)、「百万石の大工さん」(H15)、「高岡城」(H16)、「高岡銅器・下図の世界」、「高岡の寺院と寺宝」(以上 H17)、「福岡の歴史と文化」(H18)、「高岡ものがたり」(H19)、「高岡の作家たち」、「松原秀典原画展」、「高岡の技と美」(以上 H23)、「山本二三展」(H24)、「ドラえものの科学みらい展」(H25)、「夢はこぶ “かがやき”」(H26)、「高岡城跡の魅力」(H27)、「幕末維新風雲通信」、「戦時下の暮らし」(以上 H28)、「五十嵐篤好」(H29)、「堀田一族と伏木」(H30)、「前田利長書状展」(R1)

**【主な共編著】**上記展等図録の他、『越中人譚』(H15)、『富山県の歴史散歩』(H20)、『千保川の記憶』、『高岡を愛した先人たち』、『保存版 ふるさと高岡』、『たかおか夢絵巻』、『高岡開町400年新聞』(以上 H21)、『愛蔵版 ふるさと人物伝』(H22)、『二上射水神社文書目録』、『鋳物のまち・金屋』(以上 H23)、『高岡芸術文化都市構想 都萬麻01』(H24)、『富山県 謎解き散歩』、『高岡城跡詳細調査報告書』(以上 H25)、『高山右近』(H26)、『佐渡家資料目録』、『鳥瞰図でめぐる北陸新幹線パノラマ地図帖』(以上 H27)、「北日本新聞「タイムスリップ明治のとやま／高岡の経済・産業①～④」」(H30)

※ほか、当館HP「学芸ノート」にて各種エッセイ・論考などを掲載中。

**【主な映像作品監修・出演】**富山県映像センター『高岡物語』(H20)、高岡ケーブルネットワーク『高岡ものがたり』(H21)、同『歴史都市高岡ふしぎ帖』シリーズ(H27～)

**【委員等】**富山県祭り・行事調査専門委員(H12～14)、富山県公文書館古文書調査員(H18～)、高岡城跡詳細調査指導委員会オブザーバー(H22～25)、越中史壇会委員(H25～26)、高岡城跡保存活用計画策定専門部会委員(H27～)、仁木宏城下町科研・金沢研究集会会員(H27～)、経済産業省伝統的工芸品指定小委員会専門委員(H30)

**【講演講座等講師】**約550回